

教授就任挨拶

2021年（令和3年）4月1日付で筑波大学消化器内科教授に就任しました土屋輝一郎と申します。当教室は1977年（昭和52年）崎田隆夫初代教授から始まり、二代目 大菅俊明教授、三代目 福富久之教授、四代目 田中直見教授、五代目 兵頭一之介教授が務められ、私で6代目となる伝統ある教室です。これまで築かれた教室の診療・研究・教育をさらにより良いものにしていく所存ですので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

消化器内科は食道、胃、小腸、大腸、そして肝臓、胆嚢、膵臓までの非常に幅広い臓器を担当しており、内科の中でも患者さんの数が非常に多い領域です。それぞれの臓器において良悪性腫瘍、炎症性疾患、機能性疾患、感染症など様々な疾患が存在するだけでなく、臓器間でも連関するなど専門的かつ総合的な臨床能力が求められます。緊急を要する場面もあり、真摯に医療と向き合う心意も重要です。

ただし、このような重責は医師個人の力だけでは負担が大きいことが問題です。そこで、当教室ではチームとして一丸となって様々な要望に応えていきます。そのためにも論理性・協調性・技術力を修練しつつ、それぞれの医師の個性を活かした育成を行います。強力なチームのもと医師・患者さん共に無理のない医療環境の確立を目指します。

また大学病院の使命として、総合的な臨床力で診断を行い、専門性の高い治療を提供します。その一方、医療現場から挙げられた問題点を論理的な思考にて研究課題を立ち上げます。研究で得られた成果を次世代の医療に発展させることで患者さんへ還元するといった好循環となるように、臨床と研究を一体化させた教室を目指します。

当教室の先生とはまだ出会ったばかりですが、やる気のあふれる良い先生ばかりです。茨城・全国・世界を代表する診療を目指してこれからも教室員一同邁進していく所存です。何卒ご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

最後となりますが、長年ご指導いただいた私の師匠である渡辺 守教授のモットーを紹介します。

「If you want to go fast, go alone. If you want to go far, go together. 」

大きな目標を達成するためにも皆さんと歩んでまいります。

今後、若手医師を含め様々な方が仲間に加わることを心よりお待ちしております。

2021年4月

主な略歴

1995年 山梨医科大学 卒業
1995年 東京医科歯科大学医学部附属病院第一内科 入局
1996年 日立総合病院 医員
1999年 東京医科歯科大学大学院 入学
1999年 東京都立臨床医学総合研究所 出向
2003年 東京医科歯科大学 消化器内科 入局
2005年 東京医科歯科大学 消化器病態学 助教
2007年 東京医科歯科大学 消化器内科 講師
2015年 東京医科歯科大学 消化器内科 准教授
2021年 筑波大学 医学医療系 消化器内科 教授

所属学会・資格等

日本内科学会（総合内科専門医）
日本消化器病学会（専門医・指導医・学会評議員・関東支部評議員）
日本消化器内視鏡学会（専門医・指導医・学会評議員・関東支部評議員）
日本消化管学会（胃腸科専門医・指導医・代議員）
日本小腸学会（理事）
日本炎症性腸疾患学会（学術委員会委員）
日本消化器免疫学会（評議員・教育委員会副委員長）
米国消化器病学会（フェロー）
欧州炎症性腸疾患学会
日本癌学会